

有機金属錯体の特性を利用した新しい環形成反応の開発
及び有用生物活性化合物合成への応用

**Development of Novel Synthetic Method of Cyclic Compounds
Using Organometallic Complexes and Syntheses of Biologically
Active Substances Using These Methods**

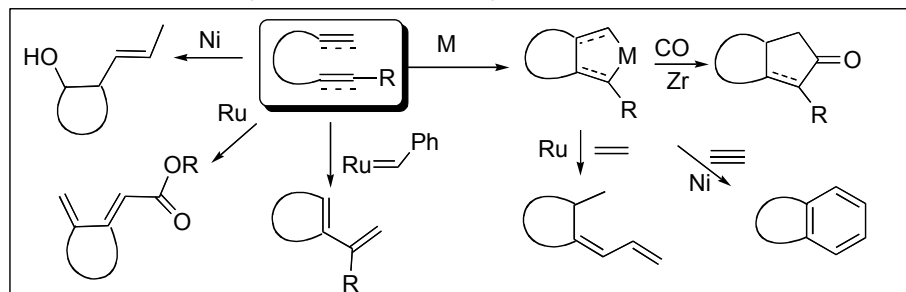
森美和子

北海道大学大学院薬学研究科

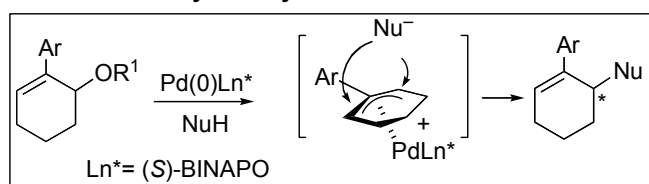
Graduate School of Pharmaceutical Sciences, Hokkaido University

有機合成化学において最も重要な反応は炭素—炭素結合を形成する反応である。我々は有機金属錯体によって二重結合，三重結合等の間で炭素—炭素結合が形成されるという事に目を向け，特に環状化合物の新しい合成法の開発を手掛け、その反応を鍵工程として生物活性を持つ化合物の合成を行った。用いた金属は Zr, Ti, Cr, Ru, Ni, Pd 等多岐にわたる。それらの反応を利用していくつかの生物活性を持つ化合物の合成に成功したので報告する。

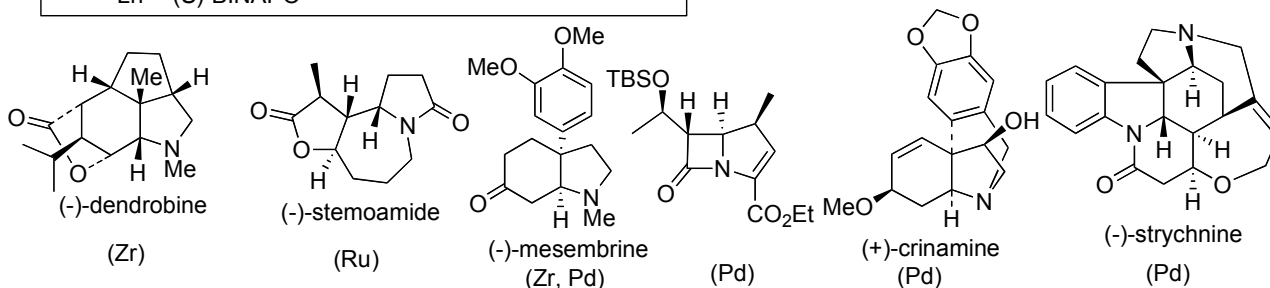
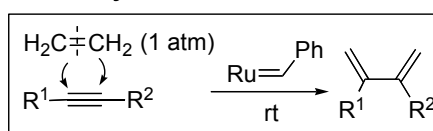
Transition Metal-Catalyzed and -Mediated Cyclization



Palladium-Catalyzed Asymmetric Amination



Novel Synthesis of 1,3-Diene



本研究を精力的に行なってくれたスタッフ、学生諸氏に心から感謝致します。